
ろくでもねえ不動産屋・ネタっぽい

青木弘樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ろくでもねえ不動産屋・ネタっばい

【Nコード】

N7884U

【作者名】

青木弘樹

【あらすじ】

ネタ系です。二人のやりとりをお楽しみください。

Aさんは一人暮らしをすべく、とある不動産屋へと足を運びました。足を運んだと言っても、もちろん足だけじゃなく体全体運びましたよ。

＼（＾０＾）／

『いらっしゃいませー－－－－－－－－』

「語尾、なげえよ」

『今日はこういったご用件でご在宅でしょうか？』

「言葉おかしいぞ。バカか」

『とりあえず空いている席にお座りくださいませ』

「3席しかねえし、全部空いているし」

『一番左の席は有料座席となっております』

「座るやつ、いんのかよ」

『それで、今日はどうされましたか？家に空き巣が入ったとか？』

「おまえ警察かよ。対処してくれんなら、そん時くるぞ」

『あいにく、そのような事には対処しかねます』

「なら、言つなよ」

『もしかしてお部屋をお探しですか？』

「ああ。一人暮らししようと思ってね」

『なんのために？』

「理由はいいだろ。聞く権利も言う義務もないわ」

『どういった条件でお探しですか？』

「そうだなあ、とりあえず駅から近いほうがいいかな」

『それはちよつと、かなり困難なご要望でございますね』

「なんでだよ。あんだろ、ちよつとくらい。あと、ございやすってなんだよ。江戸時代か」

『今は平成でございます』

「わかつてるわ。お前バカか」

『駅近でえきちかございますね。少々お待ちくださいませ』

「駅近つてなんだよ。略すなよ。それにやつぱあるんじゃねえか。あと、ませませて何だよ。いろいろ入れてくるんじゃねえよ」

『お待たせいたしました。えーと、駅から徒歩5分の物件が全部で137件ございます』

「山ほどあんじゃねえか。なんだこいつ」

『一人暮らしといことは…4LDKくらいでよろしいでしょうか?』

「そんなに部屋いらねえよ。お前バカか」

『では2DKくらいでいいんか?』

「急にため口になるんじゃないよ。ちょっとキレたのかよ」

『では2DKでよろしいですか?』

「いやワンルームでいいよ。出来るだけ安いのが」

『ワンルームでございますか』

「なに?ワンルームないの?」

『そうでございますねえ…』

「137件もあつたらワンルームもあるでしょ?」

『いえちよつと…犬専用アパートっていうのはうちには…』

「そういう意味じゃねえよ。もういいわ」

…というやりとりが、あつたとかなかったとか…。

Aさんの物件探しは、まだまだ始まったばかりである。

おしまい

(後書き)

ありがとうございました。
小説も書いております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7884u/>

ろくでもねえ不動産屋・ネタっばい

2011年10月9日23時41分発行